



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込み下さい。

e-mail で jimuj@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

京都大学

大学院理学研究科宇宙物理学教室教官

1. 助教授 1 名
2. (1) 京都大学
大学院理学研究科宇宙物理学教室
(2) 京都市
3. 天体物理学
4. 天体物理学の研究とそれを通しての大学院生・学部生の教育、より具体的な分野としては恒星物理学とこれに関連する分野を中心に選考する予定ですが、それ以外の応募も歓迎します。また理論、観測は問いません。京都大学において新しく活気あふれる研究グループを立ち上げ、日本の拠点としてリーダーシップを発揮できる有能な人材を広く求めます。
5. 2005 年 5 月 1 日
7. 履歴書、論文リスト、主要論文別刷、研究歴、研究計画書 各 2 部
8. 2004 年 10 月 14 日（木）必着
9. (1) および (2)
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室
教室主任 稲垣省五
Tel: 075-753-3892 Fax: 075-753-3897
Email: inagaki@kusastro.kyoto-u.ac.jp
10. 封筒に「人事応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付のこと。応募書類は、お返ししません。

京都大学 大学院理学研究科物理学 宇宙物理学専攻教官

1. 助手 1 名
2. 物理学・宇宙物理学専攻物理学第二分野天体核物理学研究室
3. 天体核物理学
5. 決定後なるべく早い時期
7. 履歴書、業績リスト、現在までの研究概要、着任後の研究計画、着任可能時期、主要論文コピー 5 編程度
8. 2004 年 10 月 15 日（金）
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科物理学第二教室
専攻長 中村卓史
(2) 同上 中村卓史 Tel: 075-753-3831
10. 応募上の注意：提出書類は原本とそのコピーを 2 部（合計 3 部）同封し、封筒に「天体核人事応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付のこと。

独立行政法人理化学研究所 平成 17 年度独立主幹研究員

1. 募集人員：2 名程度
2. (1) 理化学研究所 和光研究所
(2) 原則として和光キャンパス内
3. 新領域開拓分野または異分野融合分野を含めた、物理学、工学、化学、生物科学または医科学の科学技術分野で、理化学研究所での実施可能な研究
5. (1) 平成 17 年 4 月 1 日
(2) 5 年間を限度として毎年度契約更新可能
6. 平成 17 年 4 月 1 日現在 40 歳未満で自然科学の博士号取得後、原則として 3 年以上の研究経歴を有する方
7. 応募意向のある方は、平成 16 年 10 月 15 日（金）までに募集要項をご請求下さい。氏名（ふりがな）、送付先住所、電話番号、送付部数を E-mail か Fax でお知らせ下さい。

8. 2004年10月20日(水)17:00必着
9. 独立行政法人理化学研究所研究調整部研究交流課
独立主幹研究員担当
〒351-0198 和光市広沢 2-1
E-mail address; dokuritsu@riken.jp
Fax: 048-462-4714
http://www.riken.jp
10. 本件は政府予算の成立を前提としております。

研究助成

山田科学振興財団

2005年度研究援助候補推薦

山田科学振興財団より本会宛に、下記内容の2005年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせいたします。推薦書は学会推薦となっておりますので2005年3月1日(火)までに日本天文学会宛に提出して下さい。

1. 援助の対象: 自然科学の基礎的研究(実用指向研究は対象外)

◎研究援助趣旨

1. 萌芽的研究
 2. 大学新設(任)研究室で実施される研究
 3. 学際性の豊かな研究
 4. 国際協力研究
2. 援助の金額: 1件当たり100~500万円の援助を10件程度。
(援助金の使用期間は贈呈した年度およびその次の年度の計2年間とします。)
 3. 推薦件数: 1学会ごとに2件以内。

★2005年度研究援助候補推薦要項・推薦書用紙は今回からすべて下記ホームページ上に添付されております。

山田科学振興財団 <http://www.yamadazaidan.jp/>

研究会・集会案内

特定領域科学研究費研究「江戸のモノづくり」 第6回国際シンポジウム 「西洋精密科学受容の先人たち—天文方高橋至時没後200年記念—」

日 時: 2004年11月13日(土)
場 所: 東京大学(本郷キャンパス), 山上会館, 2階

大会議室

主 催: 特定領域科学研究費研究, 「江戸のモノづくり」総括班, A01項目, A03項目

後 援: 日本科学史学会, 洋学史学会, 天文学会, 国立天文台, 国土地理院

開催趣旨

幕府天文方高橋至時が文化元年(1804)正月五日に死去してから、2004年は200周年にあたる。至時は、フランスの天文学者ラランデ(J. J. L. de Lalande)が著した天文書の蘭訳本を見てその精緻な内容に衝撃を受け、自身の寿命を縮めてまでその読解に努めた。これは日本人の西洋精密科学に対する一つの開眼であったと言ってもよい。また、至時の学問が影響を与えた最大のもは伊能忠敬の日本全国測量で、至時は忠敬の師として終始指導的立場にあった。その後、幕末・明治に至るまで、ヨーロッパの精密数理科学に圧倒されつつ、天文学、数学、測量地学、物理学、機械工学などの分野で日本人は徐々にそれらを受け入れ、わが物にしていった。

特定領域科学研究費「江戸のモノづくり」総括班では、至時の没後200年を記念して、上記のタイトルと日程で国際シンポジウムを開催する。このシンポを通じて、江戸・幕末から明治にかけて日本人が、精密西洋科学を認識し受容していった過程を見、明治以降の我が国の科学技術発展への歴史的意義を振り返りたいというのが趣旨である。

日 程

○午前10時~12時: 小ワークショップ(研究者向け)発表者

①嘉数次人(大阪市立科学館): 天文方のラランデ天文書研究

②中村士(国立天文台): 天文方の光学研究

③小林龍彦(前橋工科大学): 漢訳西洋暦算書と近世日本の暦算家

④橋本毅彦(東大先端科学技術研究センター): 江戸時代の時計と精密機械工学(仮)

○午後1時~3時10分: 公開講演会(一般向け, 参加自由・無料)

招待講演(1), シュザンヌ・デバルバ(パリ天文台): 「ラランデの生涯と業績」

招待講演(2), 山田慶児(京都大学名誉教授): 「幕府天文方成立の歴史的意義」

○午後3時30分~午後5時30分: パネルディスカッション

司会・総合討論とまとめ: 吉田 忠(東北大学名誉教授)

パネラー報告

- ①中山 茂 (神奈川大学名誉教授): 天文方の進歩観・科学史観—高橋至時を中心に—
- ②井上智勝 (大阪歴史博物館): 羽間文庫の高橋至時関係資料
- ③箱岩英一 (国土地理院): 伊能忠敬の全国測量と至時 (仮)
- ④質疑応答, 総合討論
- 午後 6~8 時: 懇親会
 学生会館分館 6 号室, 東大赤門隣り (会費制, 要事前申込み, 11 月 8 日締切)
 懇親会申込み・問合せ先
- ①中村 士 (国立天文台)
 〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1
 Tel/Fax: 0422-34-3627
 E-mail: tsuko@cc.nao.ac.jp
- ②「江戸モノ」総括班 (国立科学博物館新宿分館)
 URL: <http://www.ied.co.jp/edomono/>

岡山天体物理観測所特別天体観望会のご案内

国立天文台岡山天体物理観測所は, 国内最大級の 188 cm 反射望遠鏡による特別天体観望会を行います。観望会に参加をご希望される方は, 下記要項に従ってご応募下さい。

記

日 時: 10 月 23 日 (土曜日), 所要時間は 2 時間半 (送迎バスで移動)

1 班は 18 時 00 分, 2 班は 18 時 40 分, 3 班は 19 時 20 分発。

場 所: 岡山天体物理観測所, 岡山天文博物館

対 象: 小学生以上 (小学生は保護者同伴のこと)

天 体: 月などを予定

定 員: 100 名

参加費: 無料

申込方法: 往復ハガキに代表者の住所, 氏名, 年齢, 連絡先電話番号と, 参加者全員の氏名, 年齢, 希望する班の番号 (1, 2, 3, どの班でも良い場合は, 4 を指定のこと) を記入してお申込み下さい。申込人数はハガキ 1 枚につき 5 名まで。

9 月 27 日 (月曜日) 必着。

抽選の上結果は, 10 月 4 日 (月) までに連絡します。

申込先: 〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町大字本庄 3037-5 岡山天体物理観測所

問合せ先: Tel: 0865-44-2155 [代表]

Fax: 0865-44-2360

URL: <http://www.cc.nao.ac.jp/oa>

主 催: 国立天文台 岡山天体物理観測所

共 催: 鴨方町 岡山天文博物館

国立天文台三鷹地区「特別公開」開催

自然科学研究機構国立天文台三鷹地区では, 下記の要領で, 特別公開を開催します。

メインテーマ: 「第 2 の地球を探せ!」

日 時: 平成 16 年 10 月 23 日 (土) 10 時~19 時

場 所: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台三鷹地区

公開内容:

- 主要観測施設, 実験装置などの公開及び展示陳列
- 天文相談コーナー
- スタンプラリー
- 4 次元デジタル宇宙シアター
- 天体観望会ほか

【講演会】

会 場: 解析研究棟大セミナー室

時 間: 14:00~16:30

講演者: 井田 茂 (東京工業大学)

「生命惑星は宇宙に充満しているのか?」

渡部潤一 (国立天文台)

「太陽系第十惑星はあるのか?」

交 通:

1. JR 武蔵境駅南口より

- 小田急バス 境 91「狛江駅北口」/「狛江営業所」行き

2. 京王線調布駅北口より

- 小田急バス 境 91「武蔵境駅南口」行き
- 小田急バス 鷹 51「三鷹駅」行き
- 京王バス 武 91「武蔵小金井駅」行き

※お車でのご来台はご遠慮下さい。

主 催: 国立天文台

東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター

総合研究大学院大学数物科学研究科天文科学専攻

後 援: (社)日本天文学会, (財)天文学振興財団

問い合わせ先: 国立天文台

Tel: 0422-34-3600 Fax: 0422-34-3690

HP: <http://www.nao.ac.jp/>

会 務 案 内

2004 年度日本天文学会 林 忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林 忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者（論文）の推薦をお願いします。締切は両賞とも 2004 年 11 月 20 日（土）（必着）です。下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、

〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 日本天文学会宛

に郵送して下さい（論文賞については e-mail も可）。なお、封筒には「林 忠四郎賞候補推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記して下さい。とくに返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会年会の春季通常総会（2005 年 3 月 29 日、明星大学）にて行う予定です。

2004 年度（第 9 回）林 忠四郎賞推薦要領

この賞は、林 忠四郎博士が 1995 年 11 月に第 11 回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された金額を基金にして設定されたものです。

分野等：広い意味での天文学（天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む）における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

授賞件数：原則として各年に 1 件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌（メダル）

および賞金（30 万円）。推薦書の形式：表題は「2004 年度林 忠四郎賞候補者推薦書」として下さい。前年度の被推薦者は、今年度再度推薦がない場合においても選考の対象とします。しかし、変更などがある場合は改めて推薦書を提出して下さい。A4 サイズの用紙に、次の順序で横書きにして下さい。

- 1) 候補者（被推薦者、連名授賞可）について：氏名（ふりがな）、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先（電話、Fax、E-mail）
- 2) 授賞対象とする研究の表題
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職、連絡先（電話、Fax、E-mail）、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨（300 字以内）
- 5) 推薦理由

6) 関連する論文のリスト

7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3 編以内）

2004 年度（第 9 回）欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、良い論文が Publications of the Astronomical Society of Japan (PASJ) に投稿・出版されるのを奨励するために設定したものです。なお、本賞の選考委員会は、林 忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文等：原則として過去 5 年以内に Publications of the Astronomical Society of Japan に出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者（共著の場合はすべての各共著者）に授与する。

授賞件数等：原則として 1 年に 2 件以内。賞状を授与する。

推薦書の形式：表題は「2004 年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」として下さい。A4 サイズの用紙（E-mail でも可）に、次の順序で横書きにして下さい。

- 1) 候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 推薦理由（1,000 字程度）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職・連絡先（電話、Fax、E-mail）、被推薦者との関係
- 4) E-mail で応募する場合は jimur@asj.or.jp 宛に出して、受領した返事を必ずもらって下さい。

2004 年度研究奨励賞第 16 回受賞候補者の推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近 5 年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日（本年度は 2004 年 1 月 1 日）で 35 歳以下の者であって、毎年 3 名以内を対象とし、賞状、賞牌（メダル）および賞金（10 万円）を併せ授与しています。本年度の受賞候補者の推薦を以下の要領でお願いします。

- (1) 締切：2004 年 11 月 20 日（土）必着
- (2) 提出書類：○候補者名、現職、生年月日、○研究の表題、○推薦者の氏名と連絡先、○推薦理由、

○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）

(3) 提出先:

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会研究奨励賞選考委員会

選考委員会では、推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を評議員会に推薦します。

2004 年度（第 4 回）天文功労賞候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。なお、天文普及に関しましては、この賞の対象とはしないこととしております。対象者は、「天文研究を主たる業務としない」個人および団体で、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、評議員会で決定します（天文月報 2001 年第 12 号 632 頁参照）。

天文学会の会員の方々からの候補者（団体）推薦を、広く募集します。A4 紙 1 枚程度で、候補者（団体）名、功績名（1 行程度）、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp）にお送り下さい。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2004 年 12 月 31 日までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

2005 年春の年会（東京・明星大学）

企画セッション募集

2005 年春季年会（3 月 28 日～30 日）において以下の要領で企画セッションを募集いたします。なお企画セッションは世話人（コンビーナー）制のみといたします。

企画セッションの申込先と問合せ先:

年会実行委員会 委員長 土居 守

(committee2004@nenkai.asj.or.jp)

締 切: 2004 年 10 月 1 日（金）午後 5 時

申込み内容:

- セッション名
- 趣旨（簡潔に）
- 世話人の氏名・所属・連絡先

お申込みいただいた企画については、内容の重複等の観点から年会実行委員会および理事会にて採否を検討し、必要があれば調整をさせていただくことがありますのでご了承下さい。

具体的な運営手順は次のとおりです。

企画セッションの提案者（2 名以上が望ましい）に世話人となっていただき、セッション全体を企画してもらいます。

- (1) 世話人は企画に相応しい講演者を決め、また tennet などを通じてセッションの紹介を流し、一般の発表者を募る。
- (2) 世話人は一般申し込みが全部集まったら、それらの発表形式（口頭、口頭+ポスター、ポスター）と講演時間を決め、年会実行委員会に一括して申し込む。レビュー講演（r 講演）には 30 から 40 分の講演時間も可、また a 講演、b 講演について必要があれば講演時間の長さを若干変更しても可。発表形式の変更があった場合には発表者に了承を得る。

- (3) 年会全体のプログラム確定後、座長を決める。

企画セッションの講演申し込み手順は、通常のセッションへの申込みと異なります。レビュー講演・一般講演とも、講演者は予稿を世話人の定める締め切りまでに、世話人宛てに送ります。世話人は、プログラム案と口頭講演者、個々の発表時間を定め、講演者に連絡します。プログラムが確定したら、世話人は、通常のセッションの講演申込期間の前に別途設けられる、登録期間（12 月 13 日（月）～16 日（木）の予定）中に、すべての講演の登録を一括して行います。

(a 講演については、これまで企画セッションでの依頼講演も含め年会あたり一人 1 講演のみ、となっていました。今回より企画セッションに対して、レビュー講演（r 講演）というカテゴリーを設け、該当者は a 講演を別に行えることとします。ただしレビュー講演は各企画セッション 2 件までとし、またレビュー講演としての認定にあたっては年会実行委員会の承認が必要となります。なお、会員の方の講演登録料については、レビュー講演も一般の講演と同様の扱いとなります。）

詳しい日程や作業、プログラム上の制約については、企画セッション採用決定後に世話人の方にお知らせいたします。

土居 守（年会実行委員長）

賛助会員名簿

(2004年9月10日現在)

(五十音順・敬称略)

アストロ光学工業(株)	岩川 熙	(株)アムテックス	佐藤邦男
(株)岩波書店編集部自然科学部門	吉田 宇一	(株)エイ・イー・エス	吉田忠彦
大阪市立科学館	高橋憲明	(有)木村商店	
(有)啓文堂松本印刷	松本桂一	(株)恒星社厚生閣	佐竹久男
国際航業(株)天文施設コンサルタント部	山田義弘	(株)国際文献印刷社	笠井康弘
(株)五藤光学研究所	五藤隆一郎	(有)ごとう書房	後藤豊生
コニカミノルタプラネタリウム(株)	今井裕司	(株)三省堂	五味敏雄
住友重機械工業(株)量子先端機器営業部	松原雄二	セイコーエプソン(株) 情報画像事業本部TP開発部	武井克守
(株)誠文堂新光社	秋元宏之	(株)誠報社	西脇潤
総合電子(株)	風間茂穂	(株)地人書館	上條宰
東京学術印刷(株)	黒岩慧美子	ナガセ電子機器サービス(株)	
(株)ニコン カスタムプロダクツ事業部	村松享幸	(株)西村製作所	西村晃一
(社)日本測量協会	中川一郎	日本通信機(株)技術センター開発部	阿部安宏
(株)ニュートリノ	山本義朗	(株)ニュートンプレス	高森みどり
浜松ホトニクス(株)	晝馬輝夫	兵庫県立西はりま天文台公園	
富士通(株)システムインテグレーション本部 科学システム統括部	遠地卓二	ベンタックス(株)	浦野文男
(株)星の手帖社	阿部 昭	丸善(株)出版事業部	中村俊司
みさと天文台		三鷹光器(株)	中村勝重
三菱電機(株)宇宙開発営業部	伊藤二郎	(株)渡辺教具製作所	渡辺美和子

賛助会費は若い人たちの研究成果の発表に対する助成に当てております。
ご支援ありがとうございます。

編集委員 土橋一仁(編集長), 上田暁俊, 大石奈緒子, 太田耕司, 亀野誠二, 濤崎智佳, 藤田 裕, 洞口俊博, 増田 智
平成16年9月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2004年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)